

なぜこのお二人が企業研修にひっぱりだこののか

鈴木中人さん 大棟耕介さんによる

いのち この愛しきもの

いのちって なに？ 誰かが満身の想いで産み落とした大切ないのち
毎日容赦なく飛び込んでくる切なく、あるいは憤りを覚えるようなニュース。

他人事だろうか？ 鈴木中人さんは、大企業を辞めて、いのちをボタンタッチする会をつくられた。
大棟耕介さんは、クラウン(道化師)としてイベントや学校、そして全国、世界の多くの病院などを回られている。
なぜ今、このお二人に企業研修が集中するのか。このお二人に共通するのは、笑顔と、実のある強さ！
苦しさを解くように優しく強く活動をされているお二人にお話をお伺いいたします。

日時 2013年1月24日(木) 午後6時半から8時50分まで

場所 東海大学 高輪キャンパス4号館 4304教室 (120席)

会場住所：東京都港区高輪2-3-23 最寄の駅：南北線 都営地下鉄三田線「白金高輪駅」出口1 徒歩8分

会費 5000円

鈴木中人

1957年愛知県生まれ。81年(株)デンソー入社。92年長女の小児がん発病を機に、小児がんの支援活動・いのちの授業等に取り組む。05年会社を早期退職し、『いのちをボタンタッチする会』を設立。09年ライフクリエイイト研究所設立。「いのちのボタンタッチ」をテーマに、いのちの輝き、家族の絆、生きる幸せ・働く喜び、良き医療など、生きる力と感謝感動を全国に発信する。



いのちの輝き、家族の絆、生きる幸せ・働く喜び、良き医療の考え方などを、15万人の聴講者の心に響かせる。TVやメディアも注目している。著書に「人生のそのときに心に刻む10のこと～働く父から息子へのメッセージ」(致知出版社)『いのちのボタンタッチ』(致知出版社)『6歳のお嫁さん～亡き娘から託されたいのちの授業』(実業之日本社)などがある。



大棟耕介

1969年愛知県生まれ。有限会社プレジャー企画 代表取締役。NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会 理事長。愛知教育大学 非常勤講師 関西大学客員教授。病院を回るホスピスクラウンの活動を日本を中心に世界中で行う。総勢約40名のクラウン集団『プレジャーB』のリーダー。抜群の運動神経と大きな身体を活かした大技が光る。大きなローラーの上



でのジャグリングや、その場にあるものを頭の上に乗せてしまうバランス芸、全長3mにもなる足長芸などのパフォーマンスは観客を惹きつける。その活動は世界中で行っており、新聞・雑誌・TVで数多く取り上げられ、講演やテレビ取材も多い。著書『ホスピタルクラウン』(サンクチュアリ出版)『道化師が動いた!』(生産性出版)などがある。現在は、「笑いは職場環境を変える」などの講演会を年間150本ほど行っている。



●お申込み方法 MAIL sachiko@chumakikaku.com

HP <http://www.chumakikaku.com/> FAX 03-5313-7052

1月24日の『いのち この愛しきもの』

日時：2013年1月24日(木) 午後6時半から8時50分

場所：東海大学 高輪キャンパス4号館 4304教室 会費：5000円

参加申し込みます。

お名前

会社名

ご連絡先

主催：中馬企画

ことづくりプランナー 中馬幸子
<http://www.chumakikaku.com/>